

第7章 作業部会

鳥類対策について専門的知見をもとに検討を進めるため、有識者を含めた作業部会を開催し、意見交換をした。作業部会の概要を以下に示す。

7.1 第1回作業部会の概要

(1) 作業部会出席者

第1回作業部会の出席者を表7.1に示す。

表 7.1 鳥類対策作業部会出席者

氏名	所属
委員	
金城 道男	沖縄フィールドワーク 代表
嵩原 建二	沖縄野鳥研究会 会員
田中 聡	希少野生動植物種保存推進員
山村 光司	農研機構 農業環境変動研究センター 環境情報基盤研究領域 統計モデル解析ユニット
沖縄県	
横田 恵次郎	沖縄県環境部自然保護課 主幹
呉屋 久美子	沖縄県環境部自然保護課 主査
事務局	
福原 亮史	株式会社南西環境研究所自然環境室 次長
峯 光一	株式会社南西環境研究所自然環境室 主任
大橋 史葉	株式会社南西環境研究所自然環境室 研究員
石田 憲	株式会社南西環境研究所自然環境室 研究員

(2) 開催日時および場所

日時:令和2年11月6日(金) 14:00~16:00

場所:沖縄県男女共同参画センター「ていりる」研修室1 (沖縄県那覇市西3-11-1)

7.2 第2回作業部会の概要

(1) 作業部会出席者

第2回作業部会の出席者を表7.2に示す。

表 7.2 鳥類対策作業部会出席者

氏名	所属
委員	
金城 道男	沖縄フィールドワーク 代表
嵩原 建二	沖縄野鳥研究会 会員
田中 聡	希少野生動植物種保存推進員
山村 光司	農研機構 農業環境変動研究センター 環境情報基盤研究領域 統計モデル解析ユニット
沖縄県	
横田 恵次郎	沖縄県環境部自然保護課 主幹
呉屋 久美子	沖縄県環境部自然保護課 主査
事務局	
福原 亮史	株式会社南西環境研究所自然環境室 次長
峯 光一	株式会社南西環境研究所自然環境室 主任
大橋 史葉	株式会社南西環境研究所自然環境室 研究員
石田 憲	株式会社南西環境研究所自然環境室 研究員

(2) 開催日時および場所

日時:令和3年2月9日(火) 10:00~12:00

場所:沖縄県男女共同参画センター「ているる」会議室1

沖縄県那覇市西 3-11-1

卷末資料 1

事業概要

令和2年度外来種対策事業（鳥類対策）概要

沖縄本島および離島においては、様々な外来種が侵入しており、在来生物の生息に多大な影響を及ぼしている。特に、生態系被害防止外来種リストにおける緊急対策外来種については、生態系へ著しく悪影響を及ぼすとされている。緊急対策外来種のちインドクジャク（以下、「クジャク」という。）については県内で一部定着が確認されており、本県生態系の脅威となっている。外来種対策については、沖縄県が令和元年度において「沖縄県外来種対策指針（以下、「指針」という。）」、「沖縄県対策外来種リスト（以下、「リスト」という。）」および「沖縄県外来種対策行動計画（以下、「行動計画」という。）」を策定し、本県の外来種対策を推進するための基盤整備を図った。令和2年度事業では、黒島において指針や行動計画等にもとづき、外来種である鳥類（特に、インドクジャク（以下、「クジャク」という。））への対策を実施することを目的とした。

令和2年度外来種対策事業（鳥類対策）は令和2年4月1日から令和3年3月31日の期間中、各種クジャク対策を実施した。クジャク対策のおもな項目は、探索犬を用いたクジャク営巣卵の探索および駆除、銃器等を用いたねぐらでのクジャク生体の駆除、繁殖期（春季）におけるクジャクの生息調査とした。また、クジャク対策の成果および次年度以降の対策案等の内容の評価にあたり、専門家を含めた作業部会を年間2回開催した。

探索犬を用いたクジャク営巣卵の探索および駆除作業には1頭の探索犬を用いた。当該調査は4月から6月を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受け6月から7月に変更となり、期間中15日間で70.6kmの探索を実施し、5巣19個の営巣卵を駆除した。

ねぐら調査および捕獲では、熱感知カメラを用いて9月から1月の期間中30日間調査を実施した。確認個体のうち、ワイヤーで15羽、空気銃で88羽を捕獲した。

クジャク生息調査は3月上旬に実施した。31kmのラインセンサスで17地点93羽の生息を確認し、推定生息数は約150羽と算出された。黒島においては昨年度よりも生息数が増加したと推測され、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により営巣卵駆除が最適な時期に実施できず作業人時も減少したことが要因で、本年度生まれた個体が増加したためと考えられた。また、ドローンを用いた森林地域の生息調査も実施し、目視のみでは調査が困難な地域においても個体数の把握することが可能となった。

普及啓発は、過年度クジャク事業の内容を取りまとめたポスターやチラシを作成し、

主に黒島住民を対象として各関係機関の協力のもと港や学校などに掲示し、また黒島の各世帯にも広報誌と併せて配布した。

令和2年鳥類対策事業では生息数のシミュレーションモデルの検討を行い、令和3年度におけるモデルの構築に向けて、算出方法の検討およびシミュレーション精度を高めるために必要なデータの整理、収集等を行った。

令和 2 年度外来種対策事業（鳥類対策）業務実施報告書

令和 3（2021）年 3 月

沖縄県環境部自然保護課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号

TEL 098-866-2243 FAX 098-866-2855

業務名 令和 2 年度外来種対策事業（鳥類対策）

請負者 株式会社南西環境研究所

〒903-0105 沖縄県中頭郡西原町字東崎 4-4